

# チョコレート嚢胞合併不妊症患者様の残余検体凍結保存及び使用の概要

2019年4月1日

本件に該当する可能性のある方で、ご不明な点やご質問がある方は、下記お問い合わせ先にご連絡をください。

題名：	チョコレート嚢胞合併不妊症患者様の凍結保存された残余検体の研究使用について
代表者：	医局：重田 護
目的：	チョコレート嚢胞合併不妊症患者様の残余検体（診療後に残った血液、卵胞液、細胞・組織等の検体）の研究使用に関する情報公開になります。
該当期間：	2019年4月1日～2024年3月31日
方法（使用する試料/情報等）：	体外受精を行う際に成熟卵子を卵巣にある卵胞から吸引回収いたします。その際、卵胞を構成する卵胞液と細胞（卵丘細胞と呼ばれています）も、同時に回収されています。通常の体外受精ではこれらは不要となりますので、破棄されています。一方で、チョコレート嚢胞は卵巣癌の原因となる事が知られており、万が一、エコー、CT、MRI等の結果から癌化が疑われた場合、診断の助けになるよう再検査用に、穿刺・吸引で回収した嚢胞内容液や、採卵予定を決める検査目的の採血で残った血液の一部を凍結保存させて頂いております。このことは体外受精同意書にて、ご説明いたし、患者様から同意をいただいた場合に実施されています。最近の研究でチョコレート嚢胞のある症例では卵子の質や胚の発育が良く無いことが頻りに観察されることが分かりました。そこで、試料が残っており、癌化が認められなかった症例のサンプルの一部を使用して卵胞液中のサイトカインの量と卵丘細胞の細胞死を起こしている割合を計測いたす計画です。
個人情報の取り扱い：	上記の残余検体は、外部機関（大阪市立大学大学院医学研究科リプロダクティブサイエンス研究所に測定等を委託する予定です。得られた結果は診療情報などと紐付けられ、集計・解析等を行う場合があります。いずれの場合も、患者様を直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化いたします。また、結果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも同様に匿名化しておりますので、患者様のプライバシーは守られます。
利益相反：	本件に関して利益相反はありません。
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者（部門・指名）	医療法人三慧会IVF大阪クリニック 06-4308-8824 医局部門 重田 護
備考：	御自身の凍結保存された残余検体を使用されることを希望されない方、その他、残余検体の取扱い等についてご不明な点やご質問がある方は、上記お問い合わせ先にご連絡をください。